

議会だより しらおか Shiraoka



特集 令和6年度一般会計歳入歳出決算認定 P2・3

令和6年度特別会計・公営企業会計
歳入歳出決算認定 P4

市庁舎火災に対する代表質問 P5

補正予算 P6・7

条例改正・制定 P7

一般質問 市政のそこが聞きたい！ P8～13

審議結果、編集後記など P14

写真は、議会開催日ごとに、議員・執行部職員が協力して議場の設営を行っている模様です。中央公民館1階講堂での議会定例会も2回目となり、設営作業も慣れてきましたが、常設の議場の有り難みを感じています。

No.229

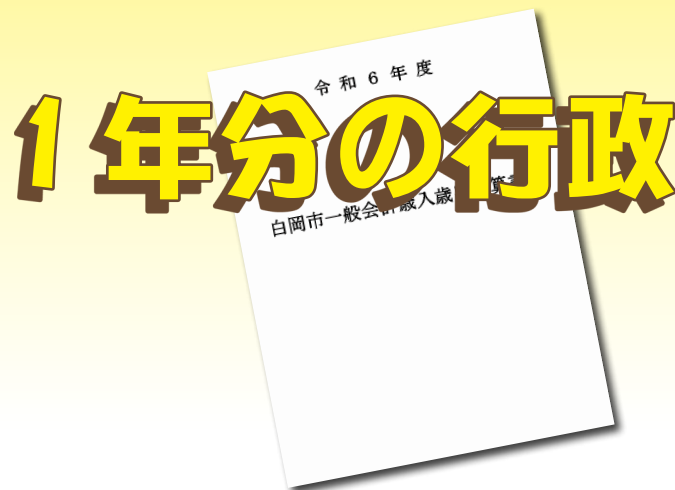
令和7年7月臨時会
令和7年9月定例会
(2025.11.1 発行)

白岡市のホームページで議会の情報（議案、会議録等）が見られます。
<https://www.city.shiraoka.lg.jp/shiseijoho/shigikai/index.html>



《9 月定例会》

9月1日から9月26日までの26日間にわたり議会定例会が開かれ、市長提出議案25件を審議しました。



D X 推進課



問

システム関連の費用は年々増大していくと思われるが、費用を抑える工夫が必要になるのではないか。

答

令和6年度に基幹系業務システムの統一化を実施したことにより、システム運用保守費やシステム使用料等を抑えることができた。今後も費用抑制に努めていく。

農政課



問

農業用排水路管理費交付金事業の交付団体の推移は。今後、農家の高齢化等により団体数が少なくなってくると思われるが、対策はあるのか。

答

過去の資料がないため推移は不明だが、令和6年度では21団体に交付している。高齢化等により団体数が少なくなってくるため、交付金額が多額であり、維持管理など業者委託が可能な多面的機能支払交付金の交付対象団体の設立を促していく。

道路課



問

新白岡駅東口の雨漏りについて、どのような改善を行っていくのか。

答

梅雨前に屋根の点検等を行っているが、集中的な豪雨の際は雨漏りをしていることを確認している。現在、原因が特定できない状態であるが、今後、原因が特定された場合は、あらためて予算を計上することになる。

街づくり課



問

エリアマネジメント団体への支援として、令和6年度は何を行ったのか。

答

市は、エリアマネジメント団体への支援に係る業務委託を行っている。令和6年度の業務委託では、組織法人格運営支援、賑わい事業実施、各種会議・勉強会開催の支援、都市再生推進法人に向けての検討、旧自転車駐車場の活用に向けての検討、情報発信事業の支援、エリアマネジメント組織の運営、事業実施にかかる支援等を実施した。

都市再生推進法人に向けての検討では、先進地への視察も実施している。

建築課



問

令和6年度の5件の耐震診断の申請のうち、耐震改修等を行ったかたはいたか。また、耐震改修等を行わない理由は何か。

答

5件のうち、4件は耐震性がないという結果であった。また、耐震改修を行わない理由には、高額な費用負担、将来的な計画が未定であることなどが挙げられる。

高齢介護課



問

成年後見制度の相談状況及び利用状況はどのようなになっているか。

答

成年後見サポートセンターでの相談件数は、令和5年度が91件、令和6年度が98件である。また、利用者数は、令和5年が49人、令和6年が35人である。

を総点検！ 決算審査



歳入…210億7096万2207円(前年度比3.2%増)

歳出…200億5844万3583円(前年度比6.7%増)

差引額… 10億1251万8624円

健康増進課



問

新型コロナウイルス感染症予防接種事業について、健康被害救済制度の申請件数と認定件数は。

答

現在まで8件申請があり、認定7件、否認1件であり、医療費及び医療手当として約250万円を支払っている。

教育総務課



問

学校給食調理室にもエアコンを設置できないか。

答

給食室にエアコンを設置するのは、一度に実施しないと不公平感がある。体育館へのエアコン設置はこれから行うが、電気を送るキュービクルが、電力需要に追いつかなくなってくる。既存のキュービクルが、どこまで対応できるかを検討していきたい。

生涯学習課



問

白岡市子ども会育成会補助金について、子ども会の数の推移は。

答

数は年々減少しており、令和7年度の子ども会は5団体、保護者86人、児童112人である。

問

市指定文化財保存事業費補助金について、毎年同じような団体に交付していると見受けられるが。

答

各団体の申請に基づいて交付している。令和6年度は3件、令和5年度は2件交付した。篠津の天王様の山車提灯に伴うものが多い。

教育指導課



問

いじめ防止対策推進事業は予算の約半分を使っている。委員会での取組や結果は。また、不用額で啓発は行っているのか。今後の予定は。

答

年1回の定例会を行っており、そこでは各学校の状況、取組を話し合っている。御意見や提言を頂いているものではない。低学年のいじめの件数が少ないことについて、指摘を受けた。この点について、教員の見逃しのないよう校長会で指導をお願いした。予算は何かあった際に対応するための確保も行っている。

財政課

問

歳入を増やすために、どのような工夫や取組をしたか。また、長引く物価高騰の影響がどう表れているのか。

答

歳入の増加に向けて、企業版ふるさと納税制度や国・県の補助制度の活用など、各種取組を実施した。また、物価上昇は、業務量の変化などにより、影響額を示すことは難しいが、学校給食費の一部を減免するなど、物価高騰に対する各種事業を実施した。

会計課

問

10億円余を債券にて運用している。31万円の減額は、満期償還額（額面金額）よりも高くその債券を取得したからなのか。

答

31万円の減額は、債券の償却原価処理によるものである。この処理により、額面価格より高く購入したものを適切に管理している。

令和6年度 特別会計・公営企業会計決算

議案
第74号

▶ 認定

国民健康保険



問 令和6年度国民健康保険税の徴収率が低下している。低下している理由をどのように考えているのか。

答 令和9年度に当市の保険税率が、埼玉県が示す「市町村標準保険税率」になるよう、令和6年度から段階的に保険税率の引き上げを行っている。保険税率の引き上げによる調定額の伸びに対し、収納額の伸びが追いついていない状況である。収納対策は昨年度と同様であることから、保険税率の引き上げによる影響であると考えている。

議案
第75号

▶ 認定

後期高齢者医療



反対討論

コロナ感染の広がりや、消費税の引き上げ、年金の引き下げなどが続く一方で、3年前に75歳以上の窓口負担が2割に引き上げになり、一定期間実施は見送られてきた。しかし、今年の10月から2割負担が実施されることになり、高齢者の生活がますます脅かされている。

議案
第76号

▶ 認定

介護保険



問 地域包括支援センター運営事業について、「ぼっかばか」よりも「ウエルシアハウス」の業務委託料が安い理由はなにか。

答 委託事業者の人件費の差である。

反対討論

介護報酬の連続削減、負担利用料の引き上げなど数々の介護現場への締めつけが行われた。そのため、介護施設の倒産を引き起こし、利用者・家族の負担を増やし、介護サービスを受けにくくする制度改悪が行われてきた。

《令和6年度 特別会計決算》

※1万円未満四捨五入

議案	区分	歳入	歳出	差引額
第74号	国民健康保険	45億 573万円	44億 940万円	9633万円
第75号	後期高齢者医療	8億9875万円	8億9638万円	237万円
第76号	介護保険	42億8415万円	40億5661万円	2億2753万円
第77号	白岡駅東部中央 土地区画整理事業	4億2012万円	3億1971万円	1億 41万円

議案
第77号

▶ 認定

白岡駅東部中央 土地区画整理事業

問 令和6年度の保留地処分金の実績と、保留地の残り件数、面積について伺う。

答 令和6年度は一般保留地1件、440㎡、特別保留地1件、18.75㎡を処分した。残りの一般保留地は5件、2,384.7㎡、特別保留地は7件、55.41㎡である。

議案
第78号

▶ 可決・認定

水道事業



問 令和6年度の流動比率は約150%となっている。過去の推移と併せて適正な基準について伺う。

答 流動比率は令和4年度が343.1%、令和5年度が406.2%、令和6年度が148.5%となっている。10億円以上の工事を行ったことで令和6年度は下がっているが、いずれも適正なものとして考えている。

議案
第79号

▶ 可決・認定

公共下水道事業



問 八潮市の道路陥没事故の影響により中川流域下水道維持管理負担金は増えるのか。

答 復旧の方向性などは示されているが、その費用負担などについて、県から明確な説明はされていない。

議案
第80号

▶ 可決・認定

農業集落排水事業



問 加入世帯数は年々減っていくと想定される。いずれ公共下水道に接続する方向と聞いているが、見通しはどうか。

答 令和6年度は411世帯となっている。人口の増加は難しく、施設の老朽化と併せて課題と捉えている。生活排水処理基本計画の中で、今後の在り方を検討しており、将来的には公共下水道に接続すると定めている。

《令和6年度 公営企業会計決算》

※1万円未満四捨五入
(税抜)

議案	区分	収益的收入	収益的支出
		経常利益	利益剰余金
第78号	水道事業	11億1234万円	9億3884万円
		1億7350万円	4億 991万円
第79号	公共下水道事業	9億 970万円	8億8424万円
		2547万円	5113万円
第80号	農業集落排水事業	9173万円	9123万円
		50万円	120万円

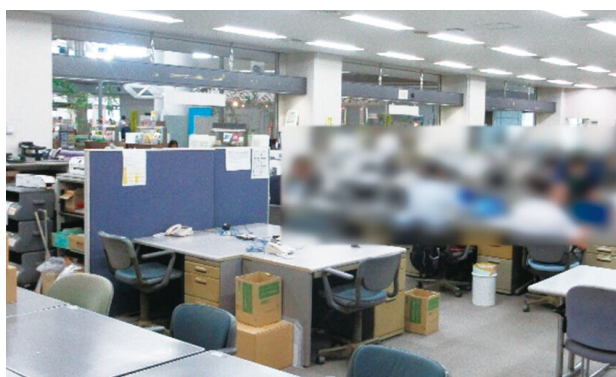
(編集・レイアウト担当 細井・浜口)

市庁舎火災に対する 代表質問

庁舎火災・復旧について

問 (1)火災発生ベルが鳴って、警備員は屋内消火栓を使って消火活動をしようとしたのか。(2)出火場所では、ゴミ箱の段ボールや消毒液等の可燃物をどう保管・管理していたか。(3)今回の火災で、いくら火災保険補償額を請求しているのか。

答 (1)屋内消火栓を使った消火活動は行っていない。(2)手指消毒用のアルコール消毒液は窓口等へ設置し、リチウム電池を使用したパソコンは、終業後に施錠できる場所に保管していた。(3)庁舎の火災保険請求に必要な資料の作成を行っているところである。



発火現場付近 (火災前)

財源について

問 財源の心配から、市税が上がるのではとの懸念の声があるが、どうなのか。また、(公社)全国市有物件災害共済会からの保険金支払い時期は、いつの見込みか。

答 庁舎火災の復旧・復興は、今後も多額の費用が見込まれているが、これに伴う個人市民税や法人市民税などの引き上げは、想定していない。また、保険金の請求は、庁舎改修工事完了後となることから、令和11年度中に支払いがあるものと想定している。

火災の責任の所在について

問 今回の庁舎火災は人災である。庁舎を損害させた責任は、庁舎などの市の財産や職員について管理責任がある市長・副市長と考える。市民に対し、公式に市長が謝罪するべきではないか。庁舎火災からの再建方針を含めたその表明は、9月議会中のいつなのか。

答 庁舎管理を統括する市長が責任を重く受け止め、折に触れお詫びしてきた。市民に対するメッセージは市公式ホームページ上に掲載し、議会に対しては、9月議会開会の際にあらためてお詫びした。市本庁舎の復旧・復興基本方針は9月議会最終日に行政報告を行う。

再発防止に向けた今後の取組について

問 出火原因は床コンセントへのプラグの差し込みの甘さである。日々の点検を行っていれば、注意力が少しあれば、出火は未然に、かつ、確実に防げた人災である。二度と火災を起こさないために、あらゆる潜在リスクを洗い出し、毎日、点検をするべきではないか。

答 今後は、電気機器等の点検チェックリストを作成し、施設管理者や各課長を中心とした定期点検を行い、再発防止に努めていく。消防訓練は、全職員を対象に屋内消火栓の放水訓練を行うなど、より実践を想定した訓練ができるように改善していく。



同タイプの床コンセント

(編集・レイアウト担当 石渡・菱沼)

市庁舎復旧・復興に伴う補正予算

議案
第 54 号 ▶ 承認

専決処分の承認 (一般会計(第6号))

問 防災無線室を移転する費用が約660万円であるが、火災復旧事業完了後に元に戻す移設費用は。戻さない場合の新設費用は。

答 無線設備の更新時期に至っていることから、防災無線室への再移設は実施せず、庁舎の改修に併せて、新たに無線設備の更新を予定している。新設費用については、今後、移設に合わせて見積等を取得するが、起債等の特定財源を活用しながら整備を図っていく。

議案
第 56 号 ▶ 可決

一般会計 (第7号)

問 庁舎火災復旧委託料約5千万円の詳細は。消防への届出被害額と保険請求額との違いは。消防から出される火災調査報告書の公表を。

答 委託料は、いわゆる火災保険の請求を行うために復旧工事額を算出する費用である。届出被害額は、火災による被害額を消防へ提出し、保険請求額は、火災前の状態に復旧する費用を全国市有物件災害共済会へ提出する。調査報告書は、まとめ次第公表していく。

議案
第 82 号 ▶ 可決

一般会計 (第9号)

1億2825万6千円を追加し、仮庁舎に移転するに当たり必要な備品購入、本庁舎に仮囲いを設置するための工事等を行うものです。



建設中の仮庁舎

補 正 予 算

議案
第 56 号 ▶ 可決

一般会計 (第7号)

問 全世帯の水道料金を1,000円割り引くが、なぜ所得制限をかけないのか。また、割引の結果、どうなることを期待しているのか。

答 所得制限などの条件付けはシステム改修に大きな費用を要し、支援に使える財源が減少してしまう。交付される補助金が限られる中、より多くの財源を支援に充てるとともに、物価高騰の影響を受ける全ての使用者に対する負担軽減を期待し、全使用者を対象とした。

議案
第 66 号 ▶ 可決

一般会計 (第8号)

問 交通安全施設整備事業について、路面標示等の着工はいつ頃になるか。

答 警察と連携を図りながら実施するため、年内には着工予定である。

問 財政調整基金の繰入金が約3億円減っているが、今後の見込みは。

答 補正予算(第8号)後の財政調整基金残高は、約7億円の見込みである。今回の補正予算は、決算剰余金の2分の1について、繰入金を減額したものである。今後の見込みとしては、繰入金を減らしていきたいと考えているが、庁舎火災の影響もあるため、長期的には見通せない状況である。

問 中長期在留資格を持った外国人の人数は増加しているのか。

答 当市における外国人の人数は、令和7年4月1日現在では972人、令和6年4月1日現在では918人であり、54人の増加となっている。また、令和5年4月1日現在では811人であり、161人増加している。

問 当市における外国人の人数は、増加しているということであるが、国別ではどこの国が多いのか。

答 上位5か国は、順にベトナム245人、中国157人、フィリピン125人、タイ110人、インドネシア88人となっている。

問 当市には、どのような在留資格の外国人が多いのか。

答 上位3資格は、順に特定技能1号255人、永住者225人、技能実習2号口127人となっている。

問 保育所管外委託事業に市外保育施設利用者が増加した要因は何か。

答 市外からの転入者について、市内保育所が満所であることを理由に、転入前に入所していた保育施設を継続利用せざるを得ないことから、入所児童数が増加したものである。

問 西小学校増改築事業の今後のスケジュールを伺いたい。

答 工事完了までのスケジュールは、今後、設計の中で決めていくが、現段階で考えているスケジュールを示す。令和7年10月に設計業務の発注を行う。設計業務が令和8年3月に完了する見込みであり、令和8年5月に工事の入札を実施したい。令和8年6月に工事の契約の議決を経て、令和8年8月頃建築工事に着工し、最終的に、令和9年3月上旬の竣工予定。

議案
第 67 号

可決

国民健康保険（第1号）

問 令和8年度から、国民健康保険税でも「子ども・子育て支援金」が徴収されるとのことであるが、市民への周知はどのように行うのか。

答 「子ども・子育て支援金」については、現在、国において政令など詳細の部分を整備している。今後、国から政令などの詳細が提示された場合には、広報紙、市公式ホームページなどにより周知するとともに、納税通知書に「子ども・子育て支援金」制度のリーフレットを同封する予定。

反対討論

子ども・子育て支援金は、実質的に目的税であり、受益者負担を原則とするべきである。既存の子ども子育て施策には、見直しが必要なものがあるが、施策の検証をしないまま、新しい施策を行うために広範囲に負担を強いることは、市民に資するものとは考えづらい。

議案
第 68 号

可決

後期高齢者医療（第1号）

反対討論

直接的受益の可能性を考慮すれば、当該世代の市民に対しての賦課が適正とは考えられない。

条例改正・制定

議案
第 62 号

可決

重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正

精神障害者の定期通院を促進、再発や重症化を予防するために補助対象者を拡大するものです。

議案
第 65 号

可決

生涯学習センター条例の一部改正

生涯学習センターに指定管理者制度を導入するために改正するものです。

反対討論

公立図書館は住民が持っている基本的な権利に応えるため、行政が設置し運営するものである。住民の生涯にわたる自己教育と地域文化の創造に資することを目的とした生涯学習機関であり、全ての住民に無料で基本的サービスを保証することを目的にしている。



議案
第 81 号

可決

市長・副市長の給料を減額する条例

令和7年5月6日に発生した庁舎火災に対する責任を鑑み、10月分の給料について、市長100分の30、副市長100分の20をそれぞれ減額するものです。

問 減額の割合と期間は何を基準に決定したか。ひと月で責任になるかと厳しい意見もある。今後、同様の措置の可能性は。

答 行政運営全般にわたり支障を来たす事態を招いたことについて、市長として重く受け止め、自ら判断したものである。再発防止策や今後の庁舎管理の在り方、復旧・復興の道筋などを示し、市民に一刻も早く安心していただけるよう、復旧・復興に全力を尽くす。



開発

石渡征浩 議員 (TSUNAGU)

篠津地域一帯の開発構想とは

答弁…農地等に配慮した土地利用を推進する

問 白岡中学校・白岡中央総合病院予定地周辺から篠津北東部にかけての地域一帯を、どのように開発する想定か。また、白岡市全体のまちづくりにおいて、当該地域に持たせる役割と期待する効果とは何か。

答 農業上の利用確保に努めるとともに、市域全体の状況を踏まえ、農地や自然環境に配慮した計画的な土地利用を推進する。地域経済の活性化や市民生活の利便性向上に資する効果が期待されることから、引き続き各種関係機関との調整を図りながら取り組んでいく。



開発 農用地区域（青地）開発の手法とは

答弁…開発の手法は3つある

問 農業振興地域内の農用地区域（青地）を開発する場合、検討可能な手法とそれぞれの手法における立地可能な施設とは何か。メリット、デメリットと併せて伺う。

答 手法は①農振法※1第13条②農振法第10条③地域未来投資促進法※2がある。店舗等が立地可能である。①一般的な手法だが計画的な街づくりには適さない。②農地を担い手に集積できるが開発面積が制限される。③都計法※3の配慮があるが市単独の意思決定ができない。

※1 農振法…農業振興地域の整備に関する法律

※2 地域未来投資促進法…地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律

※3 都計法…都市計画法



継続

尾嶋一雄 議員 (MIRAI)

白岡新春マラソン競技協力者の確保を

答弁…競技協力者の負担軽減を図っていく

問 新春マラソンを今後も継続していくためには、運営をサポートする競技協力者（関係団体からのボランティア）の作業負担の軽減が必要である。

市では、どのような対策を考えているか。

答 競技協力者の負担軽減のために、一般ボランティアの活用や負担の大きいエアーチ等の設営業務の一部業務委託等を実施していきたい。また、前日に実施していたゴミ拾いについては、負担軽減のため、今大会では実施しないこととする。



新春マラソンのパンフレット

介護 認知症サポーターに活躍の場を

答弁…オレンジカフェ運営ボランティアとして

問 認知症サポーター養成講座を受講した認知症サポーターは、地域の高齢者対策の取組に協力したいと考えている市民が多いと思われる。市では、その活躍の場を設けているか。

また、今後の展開をどう考えているか。

答 認知症サポーター養成講座の修了者に、オレンジカフェの運営ボランティアの声かけをする。また、オレンジカフェを運営する事業所等にサポーターにどのようなことをお願いするのかなどを伺い、必要に応じてサポーターを紹介していきたい。



環境

野々口真由美 議員 (TSUNAGU)

さらなる路上喫煙防止対策を

答弁…喫煙所の設置を積極的に検討していく

問 禁止エリア内での喫煙の状況はいかがか。特に、新白岡駅は喫煙所がなく、条例施行後もポイ捨ては変わらない。もちろん、マナー違反は喫煙者のモラルに関わる問題であるが、規制をかけるのであれば、ルールを守れるように、喫煙所を設置するべきではないか。

答 条例施行後に職員によるパトロールを実施したところ、吸い殻のポイ捨てを確認したため、一部喫煙はあるものと考えられる。

喫煙所の整備については、国の特別交付税措置や埼玉県補助制度を活用し、新白岡駅西口への設置に向け、積極的に検討していく。



保育 より安心できる保育環境の実現に向けて

答弁…保育士支援施策の充実に努めていく

問 保育士不足が心配される中、こども誰でも通園制度の導入や個別対応が増すことで、保育現場の負担は、今後いっそう重くなると考える。安心できる保育現場には、保育士の充実は欠かせない。そこで、保育士定着支援策として補助制度の導入はできないか伺う。

答 保育士定着施策の一環として、埼玉県社会福祉協議会の実施する、保育士就職準備資金貸付事業の活用等、情報提供に努めている。

保育士定着支援策としての補助制度については、管内保育施設から導入を希望する声もあり、実施に向けて検討していく。



環境

細井藤夫 議員 (WAKABA)

市内の水辺環境でのPFAS※¹の調査を

答弁…必要に応じて水質検査等を検討する

問 農業において水は重要である。本市は多数の河川から農業用水を得ている。農業用水の貯水池としての役割を持つ柴山沼では、ウォーターアクティビティの利用推進なども行われている。水辺環境でのPFASの調査を行って、状況を確認してはどうか。

答 当市の農業用水路の下流河川での水質検査において、PFOS※²及びPFOA※³は国が定める暫定指針値を大きく下回っており、問題がないと考える。今後も数値を注視し、急激な変化があった場合は、近隣市町と情報交換を行い、必要に応じて水質検査等を検討する。



交通 にたんごせ 二反五畝踏切と周辺道路の安全対策を

答弁…踏切周辺道路の安全対策を実施していく

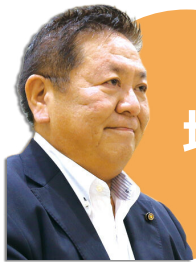
問 国土交通省が公表した「緊急に対策の検討が必要な踏切」に指定されている二反五畝踏切は、南小学校及び南中学校の通学路となっている。現状では、車、歩行者双方とも危険であることから、特に、朝の通学時間帯の安全性向上について、市の考えを伺う。

答 児童生徒の安全性向上のため、当該踏切の周辺道路におけるグリーンベルトの再塗装や「歩行者に注意」などの看板設置を行い、通行車両に対し歩行者へ配慮した思いやり運転の実施を促していく。

※1 PFAS…有機フッ素化合物のうち、ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物の総称。

※2 PFOS…PFASの一種であるペルフルオロオクタンスルホン酸。

※3 PFOA…PFASの一種であるペルフルオロオクタン酸。



地域

和賀正義 議員 (MIRAI)

ミズベリング in 柴山沼から新たな展開を

答弁…柴山沼の魅力化に向けた整備を検討する

問 柴山沼の魅力をより多くのかたに知っていただきたい。ミズベリングin柴山沼が今年で4回開催され、何を果たしたのか。今後、地域資源として最大限活用するために、補助金や助成金を活用し、桟橋の整備や駐車場などの充実を図ってはどうか。

答 柴山沼の活用方法や魅力化を考える中で、地元団体主催で実施したところ、市外でカヌー体験等のウォーターアクティビティを実施する団体と協力関係を築けた。今後、他市の例を参考に、埼玉県のみならず創造資金等の活用を念頭に桟橋や駐車場の整備を検討する。



ミズベリングin柴山沼

商工 駅周辺の活性化と今後を見据えて

答弁…店舗所有者等の意見を伺い、検討する

問 駅周辺の飲食店や小売店の廃業が続く中、駅周辺の空き店舗出店支援事業について、補助対象条件を見直してはどうか。また、空いている土地や埼玉りそな銀行跡地等工事中の広場などを活用して、定期的に屋台村やイベントなどを行ってはどうか。

答 補助対象を拡大するためには、さまざまな課題を解決する必要があるが、空き店舗に係る調査を行いながら、店舗所有者などの意見を伺い、支援の在り方を検討していく。イベント開催については、市民団体等と連携を図り、協働しながら実施につなげていく。



選挙

菱沼あゆ美 議員 (公明党)

期日前投票所の増設や工夫を

答弁…投票環境の向上に多方面から努めていく

問 7月の国政選挙では、期日前投票所を、はびすしらおかの狭い所に設けた。この経験を生かし、次回は増やせないか。そして、立会人のなり手不足の解消のために、公募をしてはどうか。また、記載台に掲示される名簿の文字が小さい場合、拡大することは可能か。

答 期日前投票所の増設はシステム環境の整備、会場や人員確保の面から現状では困難である。他自治体の事例等を引き続き研究していく。公募については統一地方選挙で実施する。市で独自に名簿の文字拡大はできないが、投票環境の向上に多方面から努めていく。



期日前投票所(はびすしらおか)

福祉

緊急時通報システムの障がい者枠の拡充

答弁…今後の動向を注視していきたい

問 65歳未満のひとり暮らしの障がい者の支援として、急病や事故などがあつたときに、ボタンを押すことで通報できる緊急時通報システムがある。対象は身体障害者手帳1～3級を持つ人のみ。孤独・孤立支援として、知的障害と精神障害も対象とすべきではないか。

答 知的障害や精神障害をお持ちのかたは、他の福祉サービスの利用や、施設入所等のかたも多い。また、在宅のかたは比較的自立度が高く、現時点ではニーズは高くないものと想定している。他市町の状況や利用ニーズ等を踏まえ、今後の動向を注視していく。



福祉

中山廣子 議員（公明党）

一人一人に寄り添った支援の拡充を 答弁…こどもに寄り添った支援を継続していく

問 児童育成支援拠点事業は、養育環境等に課題を抱える、家庭や学校に居場所のない児童等に対して、居場所となる場を提供し、個々の状態に応じた包括的な支援を行う事業である。さまざまな課題を乗り越えて、本市でも導入を検討してはいかがか。

答 市では、こども家庭センターを設置して支援を必要とするこどもの把握に努め、適切な支援につないでいる。導入予定はないが、家庭訪問等により個々の状況を踏まえて支援する子育てサポート訪問事業を継続するとともに多様なこどもの居場所づくりに取り組む。



健康

プレコンセプションケアを 軸にした取組を

答弁…計画に基づき健康づくりに取り組む

問 プレコンセプションケアとは、若いうちから男女ともに心身の健康管理に取り組む考え方である。これを一生涯の健康づくりの基礎と位置付け、切れ目のない支援や正しい知識の普及に取り組むことができないか伺う。

答 健康増進の推進に当たっては、プレコンセプションケアの視点も踏まえつつ、関係各課や団体との協力・連携を深めながら、第3次白岡市健康増進計画に基づいて取り組んでいく。



支援

寺戸睦子 議員（白和）

子育て世帯に寄り添った支援を

答弁…子育て世帯のニーズの把握に努める

問 ①市内で利用できる授乳室の現状と今後は。②総合運動公園は、おむつ替えはできるが、今後の授乳室の整備は。③子育て応援アプリ「はぴモ」のアンケート機能を活用し、的確な市民ニーズの把握に努め、子育て施策に反映させていくべきでは。

答 ①授乳施設は、市内に14か所ある。②隣接のB&G海洋センターの多目的更衣室を貸し出す。③市に寄せられる意見や保育所などの現場の声に耳を傾けるとともに、「はぴモ」を活用するなどして、子育て世帯のニーズ把握に努め、子育て施策に反映させていく。



こもれびの森の授乳室



▲はぴモ

地域

菁莪中学校の現状と今後について

答弁…地域と連携し、より良い教育環境を整える

問 ①各学年の生徒数及び学級数は。②小規模化している現状の課題は。③適正規模・適正配置実施の令和9年度までの間、現状維持で問題ないのか。④菁莪地区に対してどのようなアプローチを実施しているのか。現状の取組状況は。

答 1年1学級28人、2年1学級32人、3年2学級43人であり、現状のままでは、多様な教育環境の確保や専門性を持った教員の配置が難しくなる。教育委員会では、当該計画を策定しつつ、引き続き、地元の学校運営協議会と丁寧な意見交換を行っていく。



観光

黒須大一郎 議員（白和）

新白岡9丁目の古代蓮の再生を

答弁…原因究明の調査を実施する予定である

問 新白岡9丁目には、調整池を利用した古代蓮池がある。しかし、今年のハスの開花時期には、花はおろか葉も全く無い状況であった。どのような原因で古代蓮が全滅したのか、科学的な知見を持って原因究明の調査を行い、数少ない市内観光名所の再生を。

答 古代蓮の生育不良の原因を究明する調査を実施する予定である。調査の結果、原因が容易に解決できる場合は、早急に対応し、再生に努める。しかしながら、調整池であることが原因であれば、古代蓮を別の場所に移すことや、生育を断念することもある。

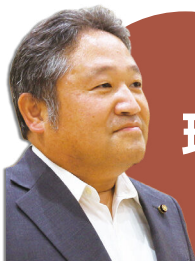
観賞用デッキがあった頃の
新白岡の古代蓮池

目的 篠津に生活基盤改善事業を

答弁…土地区画整理事業の検討時に議論される

問 市街化区域の篠津地区には、都市公園や歩道が整備されている市道は無く未舗装の市道もある。目的税である都市計画税の改定に当たり、篠津地区の生活基盤改善事業等の市街地再開発事業など、納税者が改定に納得できる新たな都市計画事業等の計画を。

答 都市計画税は目的税であり、都市計画事業や土地区画整理事業以外には充当できない。新たに篠津地区において土地区画整理事業が検討される場合には、併せて公園や道路の整備についても議論されるものとする。



環境

嶋田友一郎 議員（白和）

カーボンニュートラル実現へ計画策定を

答弁…今後も先進事例の研究等を実施していく

問 本市は2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言した。その実現には、CO2排出抑制だけでなく、吸収再利用等も考慮する必要がある。政府が進める先端科学技術の取組や農業振興・森林保全等の農政と連携した取組を含む環境計画の策定はできないか。

答 地球温暖化対策実行計画区域施策編を策定するため、自然環境や主要産業などについて調査を行った。しかしながら、効果的な施策を計画するに至らず、また、費用や効率性の面でも慎重になっている。今後も関係機関との連携や先進事例の研究を実施していく。

こもれびの森の屋上に
設置されている太陽光パネル

教育

小規模特認校の総括
将来の教育像策定へ

答弁…現在、総括の準備を進めている

問 学校教育では、教育効果を高めるためPDCAサイクル*の活用が推進される。そこで、市立学校設置条例改正の際、小規模特認校の総括を附帯決議した。市の将来の教育像を見据え、現在策定を進める計画に、知見を改善として活かすことが重要だが、その総括は。

答 白岡市立学校設置条例の一部を改正する条例に対する附帯決議で、小規模特認校について総括することとなっている。現在、総括をするため準備を進めている。総括ができれば、あらためて報告する予定である。

* PDCAサイクル
Plan(計画)、Do(実行)、Check(点検・評価)、Action(改善)の4段階を実行し、継続的な改善と質の向上を目指すためのマネジメント手法。



社会

遠藤誠 議員 (WAKABA)
人口増のための
婚活事業を

答弁…県などと連携して結婚支援を
推進する

問 市政基本方針に少子高齢対策がある。ここ数十年、人口は自然に任せるだけで、人口政策は給付のみである。ここ40年で出生数は半減した。婚外子が一般的でないわが国では、形はともあれ結婚→出産のための婚活事業を考えるべきではないか。

答 結婚に対する考え方や出会いの機会などが多様化する中で、引き続き、県や近隣自治体と連携して、結婚支援を推進するとともに、結婚・出産・子育てを望むかたの希望がかなえられる環境を整えることで、持続可能な地域をつくっていききたいと考えている。



給食

斎藤信治 議員 (WAKABA)
給食費無償化に
備えて

答弁…給食の質と量を維持していく

問 小学校の給食費が無償化される見込みだが、現在と同じ給食の質と量を保証できるか。白岡産の食材による地産地消を、さらに、無農薬野菜や有機野菜の使用を進められないか。先進地域を研究し、キーとなるコーディネーターを探してみてはいかがか。

答 給食費の無償化に対する国の補助制度は、現在、未確定であるが、給食の質と量を維持していく。地場産野菜や無農薬野菜、有機野菜の利用には、安定的な供給や生産コスト等の課題も多い。また、コーディネーターについては、今後、先進自治体を参考に研究する。



家族

中川幸廣 議員 (真風)
ラーケーション
導入の考えは

答弁…実施自治体の状況等を
注視していく

問 ラーケーションは学習と休暇を合わせた造語で、既に愛知県はじめ他の自治体でも導入されている。導入に当たってはいろいろな問題も考えられるが、新規世帯の転入を目指す点からも有効な学校教育の在り方と考える。市として導入の考えはないか。

答 ラーケーションの導入に当たっては、一定の意義がある反面、課題もある。

学校現場や保護者の意見を丁寧に伺いながら、国や県の動向、さらに愛知県や大分県などの先進自治体における実施状況やその成果を注視していく。



施設

浜口清志 議員 (日本共産党)
公立図書館の指定
管理者制度導入は

答弁…最も適切な管理を行う事業者を
選定する

問 公立図書館は、地域の拠点として継続的に資料・情報を収集・保存し、提供するとともに、地域コミュニティ及び地域文化の拠点としての役割がある。その役割が担保できるか。また、指定管理者が変わる際、事業の継続性・安定性・公平性は担保できるのか。

答 指定管理者が市の策定した運営方針に基づき管理運営を行い、市が監督することで、施設に求められる役割を担保する。指定管理者の選定において、施設利用の公平性を確保し、継続して安定した管理運営を行うことができる民間事業者を選定する。

《7月議会臨時会及び9月議会定例会の審議結果》

(○：賛成 x：反対 -：表決なし)

議案 番号		議席番号・議員名 件 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決 結果	
			寺 戸 睦 子	尾 嶋 一 雄	嶋 田 友 一 郎	細 井 藤 夫	浜 口 清 志	和 賀 正 義	野 々 口 眞 由 美	石 渡 征 浩	斎 藤 信 治	加 藤 一 生	松 本 栄 一	中 山 廣 子	菱 沼 あ ゆ 美	遠 藤 誠	中 川 幸 廣	黒 須 大 一 郎	江 原 浩 之	大 島 勉 ※		
7月議会臨時会	54	専決処分の承認を求めること（7年度一般会計補正予算(第6号)）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	承 認
	55	保健福祉総合センター外部改修工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	56	7年度一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	57	7年度水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
9月議会定例会	58	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同 意
	59	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同 意
	60	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	61	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	62	重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	63	給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	64	下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	65	生涯学習センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	66	7年度	一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	67		国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	68		後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	69		介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	70		蓮田都市計画事業白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	71		公共下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	72		農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	73	6年度	一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認 定
	74		国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認 定
	75		後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認 定
	76		介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認 定
	77		蓮田都市計画事業白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認 定
	78		水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決及び認定
	79		公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決及び認定
	80	農業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決及び認定	
	81	市長等の給料の額の特例に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	82	7年度一般会計補正予算(第9号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決

※ 18 番 大島 勉議員は議長のため、採決には加わっていません。

7月議会臨時会傍聴者数

本会議 市内 3名 市外 0名 合計3名

9月議会定例会傍聴者数

本会議 市内 27名 市外 8名 合計35名
委員会 市内 33名 市外 0名 合計33名
(委員外議員32名を含む。) ※延べ人数

次回定例会については、
市議会ホームページでお知らせします。

広聴広報常任委員会

委員長 尾嶋 一雄
副委員長 野々口眞由美
委 員 寺戸 睦子
委 員 細井 藤夫
委 員 浜口 清志
委 員 石渡 征浩
委 員 加藤 一生
委 員 菱沼 あゆ美

編 集 後 記

議員は、市民の声を受けとめ、代弁者として行政に届ける大切な役割を担っています。さらに、市民の大切な税金がどのように使われたのかを確認し、事業の成果や課題をしっかりと評価することも重要な務めです。今回の議会だよりでは、主に昨年度決算の審査についてお伝えいたしました。
(野々口)